

リレーインタビュー

矢板の未来を紡ぐ

本経寺 (片岡・日蓮宗)
樋口惟亮 (のぶあき) さん



小学校のころからスポーツが好きで、サッカー、卓球、バスケットボールなど。競技によって筋肉の付き方が違ってくる。興味深く、一時は体育で、先生になりたかった。

前号の津久井さんが所属しているサッカーチームで一緒に活動していただきたかった。小田原の父さんと一緒に活動していただきました。野球の父さんと一緒に活動していただきました。野球の父さんと一緒に活動していただきました。

■惟亮という名は：
父、惟邦の一字をもらい、祖母がつけてくれました。改名してから修行に入る決まりなので、宗教名は「いりょう」といいます。

■祖母の一言で：
私が進路を決めたのは、高校三年の受験が間近に迫った時でした。生まれてこのかた、跡を継げと私に言ったことのない父に、この時初めて、「将来どうする気なのか」と聞かれました。そして「お寺を継ぐのであればこの大学、継がないのならお前の人生だからお前

が決めろ」と言われました。父自身もお寺を継ぐのが嫌だったと聞きましたから、おそろく私に押しつけたくなかったのだらうと思います。

しかし、そのことで悩んでいた時、祖母に「このお寺を頼むよ」と言われ、おばあちゃん子だった私は、その一言で僧侶になることを決心し、立正大学へ進みましました。

■修行で
今年の四月・五月と身延山の久遠寺の近く、登竜門として誰もがやらなければならない日蓮宗の規定の修行で、修行道場(しんぎょうどうじょう)というの

自分が変わった。今年四月・五月と身延山の久遠寺の近く、登竜門として誰もがやらなければならない日蓮宗の規定の修行で、修行道場(しんぎょうどうじょう)というの



自分が変わった。今年四月・五月と身延山の久遠寺の近く、登竜門として誰もがやらなければならない日蓮宗の規定の修行で、修行道場(しんぎょうどうじょう)というの

があり、参加してきました。自由のない、刑務所のような生活で、私などは甘ったれた生活をしていたので、毎日、その日一日を勤め

のが精一杯でしたが、この修行をすることで自分が変わったと肌で感じていきます。具体的に言つと、①お経が好きになったこと②檀家のことを考えるようになったこと③お寺のことを前向きに考えるようになったこと④などです。

■どんなお寺に？
人は、辛さを我慢することで育つのではないかと思えます。修行を通して、少しの経験

のが精一杯でしたが、この修行をすることで自分が変わったと肌で感じていきます。具体的に言つと、①お経が好きになったこと②檀家のことを考えるようになったこと③お寺のことを前向きに考えるようになったこと④などです。

ですが、辛さが分らないと、楽しさ、うれしさが分らないのだと思うようになります。私が子どものころは、檀家のおばあちゃんが、お寺にしょっちゅう来てはお経を上げたり、いろいろな話をしたり、と、生きる上で大事な場になっていたと思います。ですから我慢が身に付いていない今の私が、正座することやお話を聞くことなど、最初はそんなところがらでいいのでお寺に来るといいう習慣がつけ

ていますが、今は、お寺での実際の仕事のほかに僧階(僧としての位)を上げるために週一回、講習を受けに東京の大学まで通っています。それとも一つ、僧侶にとって人と接することは絶対に必要なことだと思っています。私は半人前だから多様な考え方に対応できるようにしたいと思っています。実はある店で販売のアルバイトをしています。そこではひとつ心がけていることがあって、少しでもお客さまのことをわかっ

■楽して何かが変わるとは思えない：
人と人がコミュニケーションをとることができれば、いいなと思います。そのためには、お寺に来る事に二一スからければなりませんから、中学まで習っていた書道や、私の好きなスポーツと一緒に楽しんだりしながら我慢が身に付く方法を考えてみるというのかもしれないです。

■楽して何かが変わるとは思えない：
人と人がコミュニケーションをとることができれば、いいなと思います。そのためには、お寺に来る事に二一スからければなりませんから、中学まで習っていた書道や、私の好きなスポーツと一緒に楽しんだりしながら我慢が身に付く方法を考えてみるというのかもしれないです。

はふるさとのイメージがその祭りだったものだから。都会は友達がいったり、生活に便利でしたが、ここに帰っても、田舎だか、住みにくいということはありません。空気もいいです。も一つ、矢板戻って驚いたのは、シャープの周辺でボランティアの人たちが清掃活動をしていたので見ました。これは今までなかった光景だと思えます。

最近よく目にするボランティア活動ですが、私にはミニ修行に思えます。ボランティアだから適当でもいいということではなく、ちょっと大変なことをやるから、やっただあの達成感が生まれるのではないのでしょうか。

■裏通りに商店街なんかどうでしょう！
東京の品川区で暮らしていましたが、近くに日本一長い商店街といわれている戸越銀座

はふるさとのイメージがその祭りだったものだから。都会は友達がいったり、生活に便利でしたが、ここに帰っても、田舎だか、住みにくいということはありません。空気もいいです。も一つ、矢板戻って驚いたのは、シャープの周辺でボランティアの人たちが清掃活動をしていたので見ました。これは今までなかった光景だと思えます。



少し裏道に入ったところに、陰のメイン通りを作っています。フリーマーケットを開いたり、ボランティアで何かしたら...

せっかく那須などの観光地が近くにあり、都会の人がこちらの方に来てくれるのだから、そんな面白い場ができるというのと思えます。矢板小学校の前の通りなんかいいですよ。月に一回でもそんなことができて、若い人にとってのお祭りのようなものになればいいなと思えます。

せっかく那須などの観光地が近くにあり、都会の人がこちらの方に来てくれるのだから、そんな面白い場ができるというのと思えます。矢板小学校の前の通りなんかいいですよ。月に一回でもそんなことができて、若い人にとってのお祭りのようなものになればいいなと思えます。

せっかく那須などの観光地が近くにあり、都会の人がこちらの方に来てくれるのだから、そんな面白い場ができるというのと思えます。矢板小学校の前の通りなんかいいですよ。月に一回でもそんなことができて、若い人にとってのお祭りのようなものになればいいなと思えます。

フリーマーケットを開いたり、ボランティアで何かしたら...



せっかく那須などの観光地が近くにあり、都会の人がこちらの方に来てくれるのだから、そんな面白い場ができるというのと思えます。矢板小学校の前の通りなんかいいですよ。月に一回でもそんなことができて、若い人にとってのお祭りのようなものになればいいなと思えます。

せっかく那須などの観光地が近くにあり、都会の人がこちらの方に来てくれるのだから、そんな面白い場ができるというのと思えます。矢板小学校の前の通りなんかいいですよ。月に一回でもそんなことができて、若い人にとってのお祭りのようなものになればいいなと思えます。

せっかく那須などの観光地が近くにあり、都会の人がこちらの方に来てくれるのだから、そんな面白い場ができるというのと思えます。矢板小学校の前の通りなんかいいですよ。月に一回でもそんなことができて、若い人にとってのお祭りのようなものになればいいなと思えます。